2017 年 3 月 22 日
三菱 UFJ リース株式会社
東急不動産株式会社
ケネディクス株式会社

埼玉県春日部市にて
大型マルチテナント型物流施設『(仮称) 春日部物流センター』を着工

三菱 UFJ リース株式会社(本社:東京都千代田区、社長:白石正、以下「三菱 UFJ リース」)、東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:植村仁、以下「東急不動産」)、ケネディクス株式会社(本社:東京都中央区、社長:宮島大祐、以下「ケネディクス」)は、埼玉県春日部市において共同開発する大型マルチテナント型物流施設「(仮称) 春日部物流センター」が着工いたしましたので、お知らせいたします。



外観イメージ

「(仮称) 春日部物流センター」は、三菱 UFJ リース、東急不動産、ケネディクスが共同出資する特定目的会社が事業主体となり、ケネディクスがアセットマネジメント業務を行い、株式会社フジタの設計・施工にて開発を行います。

計画地は、主要環状道路である国道 16 号(春日部野田バイパス)と 4 号(越谷春日部・春日部古河バイパス)の交差点から約 600mの場所にあり、東北自動車道「岩槻 I.C.」や常磐自

動車道「柏 I.C.」へアクセスがしやすく、東京都心部からも約 30ｋｍと交通利便性に優れた立地です。また、上記交差点は現在計画中の東埼玉道路「庄和 I.C.」の建設予定地であり、今後更なる利便性拡大が期待されています。

本プロジェクトでは、17,951 ㎡の敷地に延床面積 38,853 ㎡、地上 4 階建ての大型マルチテナント型物流施設を建設する予定で、1 階に両面トラックバースを設置する他、効率的な物流オペレーションを可能とする最新鋭の倉庫仕様を備えております。

三菱 UFJ リースは、これまでノンリコースローンの提供・エクイティ拠出によるプロジェクト参画を通じ社会インフラである物流施設の開発資金を提供してまいりました。今後、物流効率化が一層求められる中、ファイナンスを通じ多面的に物流不動産分野に貢献いたします。

東急不動産は本物件が初めての物流施設開発となりますが、これまで培った総合不動産開発の実績を活かし、インフラ・インダストリー分野における事業展開を積極的に進めると共に、物流効率化という社会ニーズに応えてまいります。

ケネディクスは日本初の物流施設特化型 REIT に参画するなど、物流施設の投資運用に早くから取り組んでおり、これまで培ったアセットマネジメント業務の経験を基に、物流施設においても資金運用ニーズと運用不動産を結ぶ役割を果たしていきます。

計画概要

所在地	埼玉県春日部市下柳六畝
敷地面積	17,950.53 ㎡
延床面積	38,853.29 ㎡
構造	地上 4 階建
着工	2017 年 2 月
竣工	2018 年 2 月（予定）




春日部野田
バイパス
321
春日部古河バイパス
春日部市役所
庄和総合支所
庄和総合公園
N
庄和IC
16
イオンモール
春日部
4
(仮称)春日部物流
センター
越谷春日部バイパス
藤の牛島駅
東武野田線
南桜井駅